

# 進和ラベル印刷株式会社

山形県上市市

はばたく中小企業・小規模事業者300社

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

## 山形から世界レベルの技術で ブランド企業を目指す“喜働集団”

同社は、農産物や食品加工品・家庭用品・工業製品・化粧品・医薬品など、多岐にわたる分野で使われるラベルの製造・販売をしている企業。製品はシール・ラベル印刷に特化しており、世界が認める印刷技術とデザイン力を有する。その技術力の高さから様々な受賞歴が証明している。全日本シール印刷協同組合連合会主催の「第27回シール・ラベルコンテスト」では最高賞である「経済産業大臣賞」を受賞。その他、「世界ラベルコンテスト」でも最高賞の「Best of the Best」を2度受賞している。

● 所在地 山形県上市市蔵王の森10  
● 電話／FAX 023-672-7577/023-673-2019  
● URL <https://shinwalabel.co.jp/>  
● 代表者 代表取締役社長 晋道 純一

● 設立 1987年  
● 資本金 3,000万円  
● 従業員数 62人



生産性向上

### 独自商品から介護まで あらゆる分野に対応可能な印刷技術

顧客のニーズに合ったラベルの製造に留まらず、独自商品の開発も手がける。その一つが、ワインの瓶などボトル状のものに貼り付けることで立体的に商品PRができる「ボトルネッカー」。用途によって形状を変えることができ、ビール瓶やペットボトルなどにも適用可能。現在は県内のワインメーカー等に採用されている。また、山形大学が行う、介護用おむつの尿ぬれ感知センサーの開発にも携わる。おむつに、フィルムにICタグを印刷したセンサーを貼り付ける製品で、ICタグの印刷工程を担う。



立体的PRができる「ボトルネッカー」

### 最新ラベル検査機の導入で検査時間を大幅に短縮

従来ラベルはロール紙に印刷するため、1つ不良箇所を発見すると検査機が止まり、次の不良箇所を発見するとまた止まっていたため、1ロールの検査が終わるまで長時間を要していた。新たな検査機は、1巻600メートルのロールを最後まで検査して不良箇所を記録し、巻き戻す時に不良を取り除くことができる。検査時間を30分ほどの短縮と高品質化を実現したことで、同業者のラベル会社、化粧品や医薬品関係など新たな顧客開拓に繋がっている。



最新鋭の検査機

### 幅広い年代のノウハウを結集、デザインの多様性を創出

デザインは6名の社員で構成された「デザイン制作室」が担う。顧客の要望に柔軟に対応するための秘訣は、幅広い年齢層の知恵を結集。OBOGの多い東北芸術工科大学の学生とデザインや仕事内容について話をする機会を設け、若い感性を取り入れている。また、社員は定年後も65歳まで再雇用という形で働くことを可能にした。結果、60歳以上の社員が技術の継承を行うほか人手不足を補う役割を果たす。これまで培ってきたノウハウと若い感性の融合が品質と独自性を支える。



学生の若い感性を取り入れる「デザイン制作室」

ものづくり